

～6月議会定例会冒頭挨拶～（令和2年6月8日）

本日、令和2年第5回大町町議会定例会を開催しましたところ、議員の皆様には、大変お忙しい中、御参集いただき、御審議賜りますことに厚くお礼申し上げます。

提案理由の説明の前に、議会冒頭に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

早いもので、令和2年が明けて、5ヵ月が過ぎました。この間、新型コロナウイルス感染症が世界規模で、大流行となり、世界でもおよそ670万人が感染、39万人を超える方々が亡くなられています。

日本の著名人も、数多くお亡くなりになりました。コロナの犠牲になられたすべての皆様のご冥福を、心からお祈りする次第でございます。

このような中、佐賀県でも、県外の方2名を含め、47名の方が陽性と判断されました。

現在、6月4日付けで、40名の方が退院をされ、残りの方々も、念のための宿泊施設での療養中であり、入院者数はゼロとなっており、県境越えの外出につきましても、首都圏や北海道、北九州市を除いて、すべて緩和されました。

これも偏に、町民の皆様をはじめ、県民一体となった自粛協力に対する意識の高さの表れだと感謝するところでございます。

ただ、全国的に見ましたら、一部地域では、第2波の懸念もあるようで、引き続き、自らが感染しないよう3密を避けながら、マスクの着用、こまめな手洗い、換気の徹底など、「ウィズコロナ」、コロナウィルスは身近に存在していることを意識しながら「新たな生活様式」を心がけていくことが重要であると思っております。

町民の皆様にも、重ねて感染予防に努めて頂くよう周知をしていきたいと考えております。

今年はコロナに翻弄されながらも、6月を迎えました。

これから本格的な暑さと、雨の季節に入っていきます。

自然災害に備え、これを機に、これまでとは違った「コロナ過での避難所の在り方」を考えていく必要があります。机上論とならないよう職員が一様に共有できる現実的かつ合理的、実践的なロードマップ等の作成と共に、それに沿った避難者受け入れのための行動確認を目的とした職員訓練を計画しているところでございます。

また、昨年大雨により、油の流出を招いた佐賀鉄工所においても、大雨対応訓練が計画されており、町としても、積極的に参加し、しっかりと体制・対

応、マニュアル等を確認させていただきたいと考えております

これから大雨、台風シーズンを迎えるにあたり、昨年の大規模災害を教訓として経験が無駄にすることなく、職員ともども、気を引き締め、緊張感をもって、万々に備えていく決意でございます。

(提案理由等、詳細につきましては、当HP町政欄議会会議録をご覧ください。)